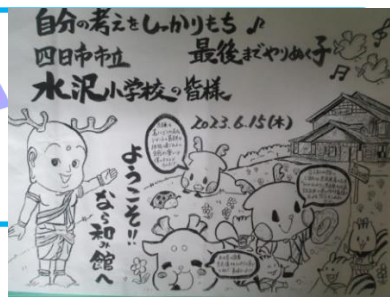


四日市市立水沢小学校

学校たより

令和5年6月19日 第17号



タブレットを持ち帰って学習しています。

四日市市学校教育ビジョンには、GIGA スクール構想として「ICT 活用による情報活用能力の育成」が掲げられています。本校では、現在2～6年生が原則毎日タブレットを持ち帰っています。四日市市教育委員会から「こにゅうどうくん学びの部屋」「ドリルパーク」等を活用して、個に応じた学びの提供が推進されています。その反面、タブレットはさまざまな情報を得るためにインターネット回線への接続ができるため、学習以外での活用、公序良俗に反すること、違法行為、極端に生活リズムを崩すような利用、など危惧されることも多々あります。子どもたちがタブレットを利用するにあたり、学習活動以外に使用することのないよう、ご家庭でも十分な指導をお願いします。また、紛失や故意又は重大な過失による破損などがあった場合には、費用弁償をお願いする場合がありますので、ご了解ください。

『こにゅうどうくん学びの部屋』国語・算数・理科・社会・英語のプリント

・タイピング練習 ・プログラミング ・四日市市に関わるサイト

『ドリルパーク』 国語・算数・理科・社会・英語

⇒ 基礎・基本から思考力・判断力・表現力の育成まで、自動採点などデジタルの特性で効率よく学習が進められます。

6年生が社会見学（奈良）に出かけました。

6年生の社会見学を6月15日(木)に実施しました。6年生にとってこの社会見学は、11月9日(木)、10日(金)に実施する京都方面1泊2日の修学旅行に向けた『日帰り校外学習』の位置づけとなります。校外学習では、学校での学習内容と絡め、さまざまなことを学ぶことが大切ですが「点呼がしっかりとできるのか」「集団行動ができるのか」「人の話をしっかりと聞けるのか」「時間を守れるのか」といったところも意識する必要がありました。



平城宮跡歴史公園では、子どもたちは復元遣唐使船の前で集合写真を撮り、その後、船の見学をしましたが、1300年前の奈良時代にこんな船があり、遣唐使が1隻100人を超える数隻の船団を組んで東シナ海を渡っていたということを想像すると、とても壮大なスケールでロマンを感じました。平城宮いざない館では、入館すると、子どもたち一人ひとりに学習シートが配付されました。子どもたちは展示を見て、それぞれの問いに書き込んだり、興味・関心を持った展示をデジタルカメラに収めたりしていました。「継手（つぎて）・仕口（しぐち）……木と木をつないだり、かみ合わせたりする方法」のコーナーがあり、いくつかのグループは、どうかみ合わせるのかに挑戦し、成功したグループは記念写真を撮っていました。昼食でお弁当をいただいた後は、朱雀門（奈良時代の平城宮の正門）を見学し、天平みはらし館のVRシアターで、在りし日の平城京の姿を5面のマルチスクリーンに再現した「平城京 はじまりの都」を見ました。バーチャルリアリティを駆使して再現されていて、気球に乗ったような感覚で当時の生活の一部分を見ることができました。

東大寺では、「奈良の大仏」で知られる「るしやな大仏……高さ約15m、顔の幅約3.2m、手の大きさ約2.5m」に子どもたちは圧倒されていました。どの班もバシャリバシャリとその姿をデジタルカメラに収めていました。その後、班別分散で二月堂に向かいました。二月堂の舞台からの眺めは、大仏殿周辺や奈良市街地、平城宮跡、等を一望することができ、「奈良で一番美しい眺め」とも言われています。かなりの階段の数で、舞台に上がるのに苦労した子も多かったと思いますが、苦労した分、眺めは格別のものだったと思います。東大寺の周辺には鹿がたくさんいて、よそ見をしている間に近づいてきてびっくりし、知らず知らずのうちに鹿の糞を踏んで「幸うん」を持った子も何人かいたようでした。

今回の社会見学では、学校の授業では学べない、貴重な体験をすることができました。自分で実際に見て体験し、感じることは深く理解することにつながり、とても意味のある大切なことです。今回の行動体験をいかして、11月の修学旅行でも深い学びができるように期待しています。（文責 北住 昌文）